事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者							
条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者							
条例第12条第1項第2号に該当する事業者							
上記以外(任意提出)の事業者							
度報告							
1							

2	基準年度、	計画期間及び	報告対象年	F <u>度</u>				
	基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度~	2025	年度
	報告対象 年度		年度					_

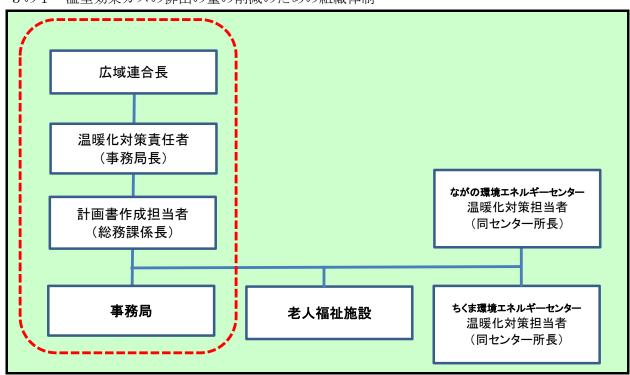
3 計画書(報告書)の公表	万法	靲
---------------	----	---

ホームページ	
印刷物の閲覧	https://www.area-nagano.jp/
その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

省エネルギー を抑制する。	省エネルギー・省資源及びごみ焼却施設で処理するごみの減量により、温室効果ガスの発生を抑制する。 2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等												
2050ゼロカー	ボンに	こ向けた中長	期的な目標等										
目標等の有無	無	目標年度	年度	削減目標									
削減計画 の概要													
イニシアチブ 参画状況		SBT 🗆	RE100 口 再エネ RE Ac	は100宣言 tion		その他							

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

特になし			

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の1 エネル	/ギー起源二酸化炭素	系の排出の重り	ノ門仮に	- 係る日倧及い夫術		
基準年度	基準排出量	2,005	t-CO ₂	延床面積	24. 00	単位 千㎡
2022 年度	調整後排出量	1,776	t-CO ₂	基準原単位	83. 54	t-CO ₂ / 千㎡
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	1, 598	t-CO ₂	目標原単位	81. 03	t-CO ₂ / 千㎡
2025 年度	目標削減率	20. 29	%	目標削減率	3.00	%
目標設定に 関する説明	原単位を年1%削減 出見込み95t-C02) を見込んでいる。	間標とし3年間・戸隠中央デ	引で3% イ等(i	を削減目標とする 排出見込み33t-CC	。また、新 02) の移管に	町デイ(排 二伴う純減分
第一年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位
37 172	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2020 十及	削減率		%			
排出量等の 増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位
717 - 122	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の 増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位
邓 —十次	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
4040 十戌	削減率		%			
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由						

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

0072 = 7774	一起源二酸化炭素」	以外の価 主効え	トルヘリ	が出り重り削減	に係る日保力	くい天限
基 準 年 度	基準排出量	63, 341	t-CO ₂	ごみ処理量	125. 64	単位 千 t
2022 年度	調整後排出量	63, 341	t-CO ₂	基準原単位	504. 15	t-CO ₂ / 千 t
目標年度	目標排出量	62, 549	t-CO ₂	目標原単位	497.85	t-CO ₂ / 千 t
2025 年度	目標削減率	1. 25	%	目標削減率	1. 25	%
目標設定に 関する説明	ごみの減量推進を	進め1. 25%を肖	削減目標	長とする。		
第一年度	排出量		t-CO ₂	ごみ処理量		単位
· 州 干及	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2023 平反	削減率		%			
排出量等の 増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	ごみ処理量		単位
714 — 1 24	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の 増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	ごみ処理量		単位
ガー	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2020 千汉	削減率		%			
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由						

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の3 自動車	[の使用に伴う二酸化炭素の	ひ排出の量の削減!	こ係る目標及び実績	
基準年度	基準排出量	51 t-CO ₂		単位
2022 年度	調整後排出量	t CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率	%	目標削減率	%
目標設定に関する説明				
佐 左	排出量	t-CO ₂		単位
第一年度	調整後排出量	t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第二年度	排出量	t-CO ₂		単位
另 <u>一</u> 十尺	調整後排出量	t 00 ₂	原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第三年度	排出量	t-CO ₂		単位
	調整後排出量		原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	削減率	%	原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由				

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim II$	I -1	燃料使用量等の定 期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの励 行						
Ш	Ⅲ-1	次世代自動車の導 入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導 入						

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

					計画		状況		
番号	区分	設備等	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)		
1	エネ起	照明設備	不要な場所の消灯	2023~ 2025	5				
2	エネ起	事務用機器	複合機等低電力モードの設定	2023~ 2025	5				
3	エネ起	昇降機・建物	ブラインド等の適正運用	2023~ 2025	5				
4	エネ起	空調機	空調の設定温度の変更	2023~ 2025	10				
5	エネ起	空調機	外気の適正利用	2023~ 2025	5				
6	その他 ガス		廃棄物の減量・分別の周知	2023~ 2025	100				
7									
8									
9									
10									

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	100	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
Jークレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	114	基準年度と 同量			
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	234	基準年度と 同量			
うち県内産	千kWh/年					

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネル ギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500kl未満	6	2,005						
合計	6	2,005						

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	61, 451			
CH ₄	3			
N_2O	1, 886			
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	63, 341			

13 次世代自動車の導入状況

(台)

				(口/
自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車	1			
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	1	0	0	0
自動車総数	39			
次世代自動車導入 割合	2.6			

14 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自 転 車の利用促進	なし
来客者の交通対策 / 社 用 車 等 の 移 動 に 伴う取 組	なし
電気自動車用充電設 備 の 設 置 /電気自動車の導入	EV充電スタンド50kW1台・25kW1台 電気自動車1台
物流の合理化	なし

15 環境配慮活動状況

四,空町 专江利		活動内容の詳細					
	環境配慮活動	実施内容					
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している					
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している					
	環境マネジメントシス テム	環境マネジメントシステムを導入している	2020				
-		名称 IS014001に準じたEMS	2020				
	グリーンボンド・ESG 投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している					
	ZEB	の認証を取得している					
	ディマンド・リスポン ス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置(上げDR・下げDR)を実施している					
	その他	施設見学を通じて環境学習の場を提供している	2022				

16 自由記載欄(特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)ながの環境エネルギーセンターは、県の「1村1自然エネルギープロジェクト」に当センターの活動が登録されている。ごみ焼却を利用した高効率発電を行うとともに、隣接する長野市健康レジャー施設「サンマリーンながの」への熱供給を行い、発電した電気の余剰分は、長野市内の小中高(80校)へ供給されており、間接的に地域の温度効果ガス削減に寄与している。

また、施設見学を通じて環境学習の場を提供している。環境学習コーナーは、「長野から地球へ」をテーマに 環境問題の解決に必要なグローバルな視点とローカルな視点を意識できる空間構成としている。 (2022年度来 場者延べ7,577人)

ちくま環境エネルギーセンターもごみ焼却を利用した高効率発電を行うとともに、隣接するRe SPA シンコー スポーツ(千曲市余熱利用施設)への熱供給を行い、お風呂などで有効利用している。 環境クイズや発電体験コーナーなどの環境学習機能も備えている。 (2022年度来場者延べ969人)